令和5年度 事業実績

社会福祉法人 豊岡市社会福祉協議会

目 次

1. 組織運営体制の強化 -----	3
2. 財政基盤・組織経営の強化 -----	4
3. 包括的支援体制整備・地域福祉ネットワークづくりの強化・充実 -----	6
4. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現 -----	30
5. 様々な地域課題に対応する人材育成と確保 -----	34
6. 社協活動の見える化・透明性の確保 -----	35
7. 法人運営 -----	38

【豊岡市社会福祉協議会 基本理念】

「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」

【豊岡市社会福祉協議会 使命】

1. 多様なネットワークの構築と、住民主体の地域福祉を推進する。
2. 住民がその人らしい豊かな在宅生活を送るための支援を行う。
3. 確固たる組織経営を構築する。

はじめに

長く続いたコロナ禍の影響も消えない中、国際的な紛争等に端を発する経済的な影響により、生活に困窮する方々が抱える課題は深刻の度を増しています。

地域社会では、人口減少や少子高齢化の進行などにより、住民同士の交流機会の減少や、ボランティア活動の減少による地域のつながり・支え合いの低下が懸念される状況が続いており、地域での生活を存続させるための基盤が揺らぐとともに、社会的孤立や格差により、地域生活課題も複雑・多様化しています。

豊岡市社会福協議会（以下「豊岡市社協」という。）では、生きづらさを抱える方を含め様々な住民の地域生活を支え、その人らしく役割、生きがいを持って暮らし続けられる地域づくりのために、地域住民、社会福祉法人、企業、市等と連携・協働して地域共生社会の実現に向けて取り組みました。

豊岡市地域福祉計画（令和4年度～8年度）については、「住民の主体的な地域づくり」の推進を重点的に取り組み、特に移動・交通及び買い物困難者の課題解決に向けて住民が主体的に取り組む体制づくりの支援を行いました。また、「総合的・包括的な相談支援体制づくり」は、課題が複合化・複雑化し、対応が困難なケースや現在の公的支援制度では要件を満たさない「制度のはざま」にあるケース等に対応していくために、豊岡市と豊岡市社協が全庁的に対応できる仕組みづくりを検討しました。

第2次基盤強化計画（平成31年度～令和5年度）、中長期経営計画（令和2年度～5年度）の最終年度にあたり計画達成に向けて取り組みましたが、安定的な経営に向けた財源確保、様々な地域課題に対応する人材育成と確保は、計画を達成することができず、引き続き第3次基盤強化計画に盛り込みました。

財源の確保は、安定的で継続的な地域福祉の推進を図るために、地域福祉課職員に対する人件費補助の増額に向けて豊岡市と協議を継続した結果、令和6年度より補助率50%から80%に増額しました。

人材の育成は、中途退職者の増加を早急に食い止めるために、職員プロジェクトチームからの「組織改善に関する提言」を、第3次基盤強化計画に反映しました。

介護サービスの健全化に向けて、職員体制と利用者ニーズを最適化するため各デイサービスセンターの営業日を週6日から5日に変更したことで、主任である管理者が管理業務に専念できることで、職員体制の強化を図ることができました。

災害時において、支援を必要とする利用者へ必要なサービスが途絶えることなくまたは早期に再開できるよう平常時の備え、災害発生直後の対応、事業継続のあり方について、法人全体と事業所ごとに事業継続計画（BCP）を策定しました。

1. 組織運営体制の強化

豊岡市地域福祉計画の2つの基本目標「住民の主体的な地域づくり」「総合的・包括的な相談支援体制づくり」の達成に向けて、地域支援担当職員、相談支援担当職員、介護サービス事業所職員、事務職員、全ての職員が連携し、地域支援と個別支援を一体的に推進する組織運営体制の強化に取り組みました。

(1) 住民ニーズ、地域課題の解決に向けた組織内連携の強化

① 地域福祉推進のための組織内協議の場の強化・連携

全ての職員が連携し地域福祉を推進するため、旧市町圏域ごとに圏域ミーティング（組織内協議の場）を開催しました。各部署の事業活動の進捗状況や情報の共有、圏域内の社会資源の整理、事例検討等を通じて、地域支援と個別支援の一体的な推進に向けて取り組みました。

また、地域福祉計画の推進を図る圏域行動計画コアメンバー会議を旧市町圏域ごとに開催しました。

基本目標	取り組みに対する評価
住民の主体的な地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○豊岡市買い物支援ネットワーク会議を開催。その意見から、買い物支援マップ（googleマップ活用）をホームページに公開 ○社協福祉車両を活用し、地域主体の買い物ツアーを実施 ○地域福祉活動者同士のつながりあう場として、「豊劇IDOBATA会議」や「とよがるの会」を実施 ○障がい者の社会参加と障害理解を目的に、(一社)豊岡アートアクションと共同し、圏域ごとに即興ダンスワークショップを実施 ○福祉学習の学びから児童たちが考えた住民参加型カフェをコミュニティで開催し、児童の主体性を育みました。
総合的・包括的な相談支援体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな社会資源の検討や制度の柔軟運用、庁内連携・相互理解を目的に、分科会方式(居場所、住まい、就労、病気)にて総合相談支援チーム会議を実施 ○ICTを活用し、医師会等と連携しバイタルリンクを用いて情報共有を行う体制を構築

(2) 目標管理による確実な組織運営、事業計画・予算目標の実行

基盤強化計画に位置づけた取り組みを着実に実行していくために、課長補佐以上の管理職を対象とした目標管理制度に基づいて進捗管理に取り組みました。

課	項目	進捗状況
企画総務課	第3次基盤強化計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ○重点項目を「財源」と「人材定着・育成」に絞ったことで、作業部会、策定委員会で活発な議論ができました。 ○財源確保は、具体的な取り組みの提案が不十分でした。
	災害時事業継続計画(BCP)の策定	<ul style="list-style-type: none"> ○計画策定のスケジュールの遅れがあり、各課との擦り合わせは十分にできませんでした。
地域福祉	課題解決に向け、コミュニティと協働で進める地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○五荘コミュニティ、市と連携した地域コミュニティ福祉部研修の開催 ○八代コミュニティにおける福祉委員の見守りチェックシート

社 課		作成の協議 ○高橋地区福祉連絡会の防災勉強会の準備・調整
	地域福祉課学習会の実施	○各係の相互理解は、ある一定の成果が見られました。 ○コロナ禍による職員間のつながりの希薄化は、グループワークを行うことで、つながりの再構築ができました。 ○次年度は早い時期の開催について検討が必要。
	事業継続計画(BCP)の策定 (地域包括支援センター、障害者相談支援事業所)	○すべての事業所で策定ができました。 ○利用者の安否確認優先順位、避難先、過去の災害被害等について、利用者や家族と確認することができました。 ○BCPの内容は、すべての職員への周知が不十分でした。
在 宅 福 祉 課	介護保険事業の利用者の確保	○利用者数目標達成率 ケアプランセンター 97.3% ヘルパーステーション 91.2% デイサービスセンター 103.6% 訪問入浴事業 87.0% 小規模多機能型居宅介護事業 82.0%

2. 財政基盤・組織経営の強化

豊岡市社協が、地域福祉活動を安定的・持続的に推進するためには、財政基盤の強化と組織経営の健全化に向けて計画的に取り組む必要があります。

(1) 第3次基盤強化計画の策定

第2次基盤強化計画（平成31年度から令和5年度の5ヶ年計画）の取り組みの進捗状況、成果、課題を検証し、評価委員会の評価・提言を踏まえて、第3次基盤強化計画（令和6年度から令和8年度の3ヶ年計画）を策定しました。

その内容は、本会の喫緊の課題であります「財源」、「人材定着・育成」に焦点をあてた計画としました。財源面では、法人運営と地域福祉部門、委託事業の財源確保に向けての取り組みと、人材定着・育成面では、職員がやりがいや意欲を持って働き続けられる職場づくりの具体的な取り組みとしました。

(2) 人件費補助の増額に向けた市と継続的な協議

令和4年10月に要望書を提出し、令和5年2月に市から増額に向けて検討しますと回答書をいただきました。令和5年4月から事務レベルでの具体的な協議を重ねた結果、令和6年度から、地域福祉課職員の補助率をこれまでの50%から80%に改定されることになりました。引き続き、要望していた補助率100%をめざして協議を行いました。

(3) 介護サービス事業の健全経営に向けた強化・充実

利用者のその人らしい豊かな在宅生活を守りきるために、財政面においても確実な収益を確保して安定的な経営の継続に努めました。

各デイサービスセンター（豊岡港、竹野、日高西、日高東、但東）は、介護職員の確保が困難になり、継続的で安定的なサービス提供が困難なことから、令和5年度より週6日から週5日の営業日に変更しました。それにより、稼働率は上昇し、主任である管理者が管理業務に専念できることで、働きやすい職場環境づくりに取り組むことができました。

介護の仕事の魅力を伝えるために、職場環境の改善の取り組み、福利厚生を紹介、職員の声やライフスタイル等を、SNSを活用して定期的に発信しました。

採算性の確保に向け、主任介護支援専門員や介護福祉士等の積極的な資格取得・研修受講により、質の高いサービスの提供を実施し、介護職員処遇改善加算Ⅰ及びサービス提供体制強化加算を取得、特定事業所加算の算定要件の維持を図りました。

また、介護サービスの質の向上を目的に年次計画に基づく研修を通じた人材育成も行いました。

3. 包括的支援体制整備・地域福祉ネットワークづくりの強化・充実

地域福祉計画の基本目標①住民の主体的な地域づくりを基に、行政区・地区圏域における支え合いの地域づくりを、住民や関係機関・団体とともに推進しました。また、地域課題の解決に向け、関係機関や企業、団体等との地域福祉ネットワークの構築に取り組みました。

基本目標②総合的・包括的な相談支援体制づくりを基に、多様化・複雑化する住民のさまざまな困りごとを受け止め、解決に向け市や関係機関、地域と連携・協働する包括的な支援体制の構築に取り組みました。

【地域課題の解決に向けた具体的な活動】

把握した課題	主な取り組み内容
買い物支援困難者の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援ネットワーク会議 ・買い物支援マップ作成 ・買い物支援コーディネーター配置(地域おこし協力隊受け入れ団体) ・見守り個配サービス事業の推進 ・福祉車両の活用(サロン送迎、買い物支援におけるモデル事業等) ・買い物支援団体等への支援
移動困難者の課題	
認知症の方の生活課題	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ支援 ・地域における福祉相談窓口 ・地域福祉連絡会 ・サロン等、地域の居場所の推進 ・豊岡市社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネットとよおか)
見守り・声かけ等の課題	
高齢者等のつながり・健康課題	
地域活動者の担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・団体等の地域貢献活動把握 ・インフォーマルな社会資源(サークル活動等)の把握と個別支援とのマッチング支援 ・地域福祉研修会
民生委員等の担い手負担増	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉連絡会
障がい者等、社会参加の機会	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り個配サービス事業の推進 ・こども食堂支援
災害時要援護者等の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・防災研修等 ・災害時要援護者の支援検討
多様な主体の活動への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・「とよがるの会」の開催及び取り組みの紹介動画の作成 ・「豊劇 IDOBATA 会議」の支援
社会資源の見える化	<ul style="list-style-type: none"> ・集いの場マップ作成(ふれあいいいききサロン・玄さん元気教室) ・買い物支援マップ作成
生活課題(ゴミ出し等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への問題提起と情報収集 ・市担当課との情報共有に向けて第1層生活支援コーディネーターとの連携

(1) 多様なネットワークによる住民ニーズ・地域課題把握、社会資源開発の検討

地域福祉推進において、4つのエリア階層(行政区圏域、地区圏域、旧市町圏域、市圏域)で活動を展開しました。行政区及び地区圏域においては、集いの場、話し合いの場を地域住民との協働により進め、支え合いの基盤の再構築を重点的に取り組みました。

旧市町圏域、市圏域では解決に向けて取り組む地域課題を『外出（移動・交通）』に絞り、外出課題のヒアリング調査結果に基づいて、地域住民主体の課題解決に向けた取り組み、関係団体や企業等との課題解決に向けた取り組み（社会資源開発）について検討を行いました。

① 行政区及び地区における支え合いの基盤づくりの推進

支え合いの地域づくりに向けて、住民同士の交流を広げるふれあいいいききサロン等の集いの場づくり、地域の生活課題を共有し、解決に向けた話し合いや取り組みを行う福祉委員会や協議体等の話し合いの場づくりを住民との協働により推進しました。住民との協働の過程において、地域が主体性を発揮して継続的に取り組めるよう、コミュニティワーカーと生活支援コーディネーターが役割分担を行い、連携した地域支援を展開しました。

【ふれあいいいききサロン助成件数】 (単位: 件)

令和5年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
行政区(サロン数)	97	17	27	55	40	31	267
地域コミュニティ組織	9	1	3	3	6	3	25

※助成金額:行政区 1年目…5万円 2年目以降…2万円

地域コミュニティ組織 一律4万円

【支え合いの地域づくり活動助成件数】 (単位: 件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
令和4年度	113	12	18	31	30	11	215
令和5年度	109	11	21	38	30	16	225

※助成金額:行政区 上限2万円

【協議体(地域サポート会議)の設置状況】(市委託事業) (単位: 地区)

令和5年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
地区	10	1	3	6	6	3	29
設置	8	1	3	4	6	4	26

生活支援コーディネーターが地域コミュニティ組織の福祉部等へ参画し、『協議体(地域サポート会議)』を通じた地域福祉推進に取り組みました。協議体等において、地域の生活課題の整理、住民主体による解決への取り組みの検討、地域人材の育成の取り組み等の支援を継続して行い、地区圏域における住民、事業所等のネットワークづくりや地域の支え合いの基盤づくりを進めました。

【具体的な取組】

- ・生活支援ボランティアの支援・検討
- ・移動交通・買い物支援の検討・実施(福祉車両の活用)
- ・福祉連絡会等の実施による福祉人材の拡充
- ・地域福祉研修会の実施
- ・防災活動の支援(災害ボランティアグループ支援、研修会等の運営支援等)
- ・地域住民、行政、社会福祉法人、住民活動団体、専門職等、多様な活動者によるプラッ

トフォームづくり 「とよがるの会」(R5.12、R6.3開催)、豊岡劇場の活用を検討する「豊劇IDOBATA会議」(月1回開催)

② 新たな外出支援の推進

住民主体による外出課題の解決に向けた仕組みづくりをめざし、本会の役割を①地域住民の課題解決の取り組みのサポート・バックアップ、②住民主体の活動を支える社会資源の開発(企業・団体・行政等との連携)として取り組みを進めました。

具体的な取り組みとして、「協働行こカーモデル事業」は、コープこうべと地域コミュニティ及び社協が連携・協働して、買い物支援の実証実験を始めました。

【福祉車両を活用した住民主体の送迎支援の実績】

項目	件数
地域コミュニティ組織	44件
行政区	14件

生活支援コーディネーターは、企業や団体との地域福祉ネットワークの構築において、一般社団法人ちいきのて、一般社団法人ケアと暮らしの編集社等の中間支援組織や生活協同組合コープこうべ、株式会社さとう、株式会社ガンピー等の関係団体や企業、市との連携のもと、地域の買い物課題等(買い物・移動交通等)の解決の取り組みに向けたコーディネート、社会資源開発において中心的な役割を果たしています。また、令和5年11月より、買い物支援コーディネーターとして、地域おこし協力隊の受け入れを行い、買い物課題の解決に向けた検討や企業との連携した取り組みを展開しました。

【具体的な取組】

- ・買い物支援ネットワーク会議による買い物支援の検討(買い物支援マップ)
- ・各企業との買い物支援等の意見交換の構築(生活協同組合コープこうべ、株式会社ガンピー、株式会社さとう、ローソン、JAたじま、株式会社F U J I、業務スーパー、ドコモショップ豊岡)
- ・見守り個配サービス事業の構築
- ・株式会社F U J Iとの協働による、地域における移動販売のマッチングと伴走支援の展開

③ 豊岡市社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネットとよおか)への参画

社会福祉法人の専門性を活かした連携・協働を通じて地域福祉推進に寄与することをめざす「社会福祉法人連絡協議会」(市内全23法人26事業所の参画)の事務局を担いました。

職員の人材不足が課題となっている法人が多いことから若い世代(学生)を対象とした福祉教育をテーマに人材確保に向けた検討を行いました。

ほっとかへんネットとよおかの活動のPRを図るためにホームページを開設しました。

項目	取り組み内容
令和5年度総会 4月14日	○令和4年度事業報告及び会計決算並びに会計監査報告について ○令和5年度事業計画(案)及び会計予算(案)について
第1回実務担当者会議	○グループワーク

7月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっとかへんネットとよおかとしての人材確保について ・ほっとかへんネットとよおかのホームページについて
第2回実務担当者会議 12月19日	○グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・ほっとかへんネットとよおかとしての人材確保について
第3回実務担当者会議 3月13日	○グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・ほっとかへんネットとよおかとしての人材確保について

④ 災害時の連携・協力体制の強化

大規模災害発生時に、迅速に災害ボランティアセンターを開設・運営できる体制構築をめざし、全但社会福祉協議会連絡会で「災害時の相互応援に関する協定書」の締結を行い、被災地社協からの応援要請を受け、他の社協が職員を派遣する体制の構築を行いました。

また、豊岡青年会議所、豊岡商工会議所青年部、豊岡市商工会青年部、豊岡市、本会との5者による災害ボランティアセンター運営にかかる訓練を実施し、災害時の連携・協力体制の強化を図りました。本年度は、豊岡ライオンズクラブ、豊岡亀城ライオンズクラブ、たすけあい隊O.V.Gの参加協力があり、ボランティア役と運営スタッフ役に分かれてICTの活用、ニーズ調査訪問、車両による搬送等、より実践的な訓練をすることができました。

⑤ ボランティア・市民活動、福祉学習の推進

ボランティア活動を通じて、住民や地域をエンパワーメントする支援を行い、支え合いの地域づくりを推進するためボランティア・市民活動センターを運営しました。ボランティア活動を希望する人と、ボランティアの力を必要とする人とをつなぐ活動のコーディネート、個人ボランティアやグループの活動環境整備等の支援を行いました。

また、障がいや高齢者等の理解を図り、地域で支え合う大切さ等を学ぶ福祉学習を小中高等学校や当事者ボランティアと連携・協働して進めました。その結果、福祉学習で学んだことを実践する場として、コミュニティセンターにて悩み事喫茶「心ぽかぽか安心カフェ」（資母小学校）を展開する小学校も見られました。

【ボランティア登録数】

(単位:人)

	年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
グループ数	R4	43	10	6	17	18	8	102
	R5	42	10	8	14	19	7	100
加入者数	R4	708	116	179	284	259	247	1,793
	R5	700	102	177	261	261	242	1,743
個人登録者	R4	312	26	8	5	11	74	436
	R5	319	23	9	5	11	72	439

【コーディネート件数】

(単位:件)

	年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計

ボランティア 活動の相談・ 問い合わせ	R4	398	32	32	100	50	92	704
	R5	366	29	41	126	63	86	711
コーディネーター 件数	R4	154	24	289	24	20	289	800
	R5	147	23	286	29	6	303	794

【障がい者（児）スポーツ・レクリエーション教室等開催事業】（市委託事業）

障がい者（児）の社会参加の機会、当事者同士や地域住民との仲間づくり、日常的なつながりづくり等を目的として、交流の場づくりをしました。企画・運営、実施までの準備等に関して、地域住民や学生の主体性を引き出しながら、障がいの理解の推進を図りました。

（障害者（児）の集える場づくり）

地域	開催日	場所	参加者数
豊岡	5月8日	豊岡健康福祉センター	10人
	6月18日	五荘地区コミュニティセンター	13人
	7月9日	豊岡健康福祉センター	13人
	9月10日	五荘地区コミュニティセンター	14人
	11月12日	豊岡健康福祉センター	13人
	12月3日	五荘地区コミュニティセンター	12人
	2月25日	五荘地区コミュニティセンター	19人
	3月10日	豊岡健康福祉センター	14人
城崎	7月1日	城崎健康福祉センター	19人
	9月9日	城崎健康福祉センター	30人
	12月9日	城崎健康福祉センター	36人
	3月9日	城崎健康福祉センター	18人
日高	7月1日	日高健康福祉センター	40人
	8月5日	日高健康福祉センター	25人
	10月14日	日高健康福祉センター	28人
	12月2日	日高健康福祉センター	49人
	3月9日	日高健康福祉センター	32人
出石	6月24日	出石健康福祉センター	53人
	8月26日	出石健康福祉センター	53人
	9月30日	出石健康福祉センター	51人
	12月2日	出石健康福祉センター	54人
	2月10日	出石健康福祉センター	51人
但東	6月10日	但東健康福祉センター	31人
	8月26日	但東健康福祉センター	30人
	11月11日	但東健康福祉センター	27人
	12月9日	但東健康福祉センター	32人
	3月10日	但東健康福祉センター	27人

（障害者（児）クリスマス会）

地域	開催日	場所	参加者数
----	-----	----	------

豊岡	12月16日	じばさんたじま	105人
城崎	12月9日	城崎健康福祉センター	40人
竹野	12月2日	竹野健康福祉センター	37人
日高	12月2日	日高健康福祉センター	49人
出石	12月2日	出石健康福祉センター	54人
但東	12月9日	但東健康福祉センター	32人

(なかよしゲーム・スポーツ大会)

地域	開催日	場所	参加者数
全域	3月2日	日高文化体育館	138人

【児童・生徒のボランティア活動推進事業助成件数】

豊岡市内小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高めるとともに、地域住民と協働し福祉活動をすることにより自分たちの住む地域に目を向け、地域社会への愛着を高め、「福祉の心」を培うことを目的とする活動を行う学校に、年間5万円の助成を行いました。

(単位:件)

	令和4年度	令和5年度
小学校	25	23
中学校	9	9
高等学校	7	7
合計	41	39

【福祉学習支援内容】

障がいのある当事者やボランティアグループ等と協働し、小・中・高等学校の福祉学習のサポートを行いました。体験学習や当事者の講話を聞くことを通じて、児童・生徒の障がいへの理解や思いやりの心を育む働きかけを行いました。

地域	学校名	開催日	参加者数	内容
豊岡	クラーク高校	4月26日	45人	アイマスク体験 視覚障がい者家族講話
	新田小学校	5月16日	38人	アイマスク体験 視覚障がい者家族講話
	新田小学校	6月6日	38人	車いす体験
	新田小学校	6月9日	38人	視覚障がい者家族講話
	新田小学校	6月20日	38人	認知症の理解
	田鶴野小学校	6月27日	19人	アイマスク体験 視覚障がい者家族講話
	田鶴野小学校	7月7日	19人	車いす体験 車いす生活者講話
	神美小学校	9月8日	9人	認知症の理解
	豊岡小学校	9月25日	59人	アイマスク体験 視覚障がい者家族講話
	中筋小学校	9月29日	15人	アイマスク体験 視覚障がい者家族講話
	神美小学校	10月3日	9人	アイマスク体験 視覚障がい者家族講話
	中筋小学校	10月4日	15人	車いす体験 車いす生活者講話
	豊岡小学校	10月11日	59人	車いす体験 車いす生活者講話
	八条小学校	10月19日	47人	アイマスク体験 視覚障がい者家族講話

	豊岡総合高校	10月26日	9人	アイマスク体験	視覚障がい者家族講話
	三江小学校	10月27日	18人	アイマスク体験	視覚障がい者家族講話
	中筋小学校	11月2日	15人	認知症の理解	
	豊岡総合高校	11月6日	8人	アイマスク体験	視覚障がい者家族講話
	三江小学校	11月7日	24人	聴覚障がいの理解	
	神美小学校	11月8日	9人	車いす体験	車いす生活者講話
	八条小学校	11月9日	47人	聴覚障がいの理解	
	豊岡南中学校	11月13日	170人	認知症の理解	
	八条小学校	11月15日	47人	車いす体験	車いす生活者講話
	豊岡総合高校	11月27日	8人	点字体験	点字の理解
	豊岡高校定時	11月28日	43人	認知症の理解	
	三江小学校	11月29日	18人	認知症の理解	
	豊岡総合高校	11月30日	9人	点字体験	点字の理解
	豊岡高校定時	12月15日	10人	高齢者施設交流体験	
	豊岡総合高校	1月15日	8人	認知症の理解	
	豊岡総合高校	1月18日	9人	認知症の理解	
	豊岡北中学校	3月13日	193人	アイマスク体験	視覚障がい者家族講話
	豊岡北中学校	3月13日	180人	車いす生活者	
城崎	城崎小学校	6月23日	17人	アイマスク体験	
	港小学校	6月26日	22人	車いす体験(当事者のお話)	
	城崎小学校	12月14日	18人	車いす体験	
	港小学校	12月20日	31人	高齢者疑似体験	
竹野	竹野小学校	6月8日	24人	高齢者疑似体験	
		6月1日	24人	認知症サポーター養成講座	
		6月5日	24人	車いす体験(当事者の話)	
		6月16日	24人	体験学習を終えて振り返り	
日高	三方小学校	6月15日	20人	視覚障がい者の生活(当事者のお話)・アイマスク体験	
	三方小学校	6月23日	20人	点字学習(貸し出しのみ)	
	三方小学校	10月26日	20人	車いす体験	
	八代小学校	11月16日	14人	認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験	
	八代小学校	11月17日	3人	アイマスク体験	
	府中小学校	12月12日	29人	車いす体験	
	清滝小学校	2月28日	21人	車いす体験(貸し出しのみ)	
出石	弘道小学校	5月31日	31人	車いす体験	
	小坂小学校	6月5日	12人	車いす・アイマスク体験	
	弘道小学校	6月15日	31人	高齢者疑似体験	
	出石中学校	10月2日	79人	高齢者疑似体験	
	福住・寺坂小学校	10月12日	21人	車いす・アイマスク体験・ユニバーサルスポーツ体験	
	弘道小学校	10月23日	31人	点字体験教室	
	小野小学校	11月27日	11人	車いす・アイマスク体験	
但東	資母小学校	4月28日	10人	福祉・ユニバーサルデザインについて、車いす基本操作	
		5月26日	10人	車いす体験	

		6月16日	10人	車いすの生活について当事者の話
		6月23日	10人	1学期振り返り、まとめ
		9月29日	9人	五感、コミュニケーション
		10月6日	9人	アイマスク体験
		10月13日	9人	点字体験
		10月20日	9人	点字手紙
		10月30日	9人	高齢者疑似体験
		11月24日	9人	聴覚障害者の生活手話
		12月1日	9人	2学期の振り返り・まとめ
		1月12日	9人	資母地区の福祉に関するワークショップ①
		1月18日	9人	資母地区の福祉に関するワークショップ②
		1月29日	9人	資母地区の福祉に関する取組の地域住民への発表
		2月26日	9人	資母地区の福祉に関する取組の実践
	合橋小学校	5月18日	19人	福祉について、身の回りの福祉、車いす基本操作
		6月1日	23人	車いす体験（トライやるウィーク中学生4名含）
		6月12日	19人	車いすの生活について当事者の話
		6月22日	19人	高齢者・認知症について、高齢者疑似体験
		7月3日	18人	1学期振り返り、まとめ
		9月28日	17人	五感、コミュニケーション
		10月6日	19人	アイマスク体験
		10月26日	19人	点字体験
		11月2日	19人	点字手紙
		11月30日	19人	手話体験
		12月7日	17人	2学期のまとめ・振り返り
		1月11日	17人	合橋・高橋地区福祉に関するワークショップ①
		1月25日	18人	合橋・高橋地区福祉に関するワークショップ②
2月29日	20人	合橋・高橋地区福祉に関する取組の実践		

（２）福祉委員活動の強化

福祉委員が区長、民生委員、民生・児童協力委員等と連携した見守り・支え合い活動をすすめて、話し合いの場（福祉委員会・見守り会議等）に参加し役割を發揮できるよう、コミュニティワーカーが働きかけと活動のバックアップを行いました。

【福祉委員委嘱数】

（単位：人）

豊岡地域	城崎地域	竹野地域	日高地域	出石地域	但東地域	合計
161	31	41	70	51	52	406

【福祉委員研修会等の開催状況】

地域	開催日	参加者数	内容
豊岡	4月22日	30人	中筋地区福祉会議（コミュニティなかすじ） 研修「中筋地区の福祉活動の推進に向けて」
	5月11日	4人	中郷区 コミュニティなかすじ まごころ部日常生活助け合いマップづくり

5月17日	14人	九日市上町区福祉委員会 地域の現状について 災害時要援護者について他
5月17日	15人	百合地区福祉委員会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
5月26日	9人	引野区 コミュニティなかすじ まごころ部日常生活助け合いマップ づくり
5月27日	9人	八社宮区 コミュニティなかすじ まごころ部日常生活助け合いマッ プづくり
5月28日	12人	伏区 コミュニティなかすじ まごころ部日常生活助け合いマップづ くり
5月29日	250人	豊岡民生委員児童委員、民生・児童協力員、福祉委員研修会 ・説明「民生委員児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員の役割 について」 ・研修「地域で進める見守りについて」 兵庫県社会福祉協議会地域福祉部松本裕一氏 ・実践発表「八条地区の福祉活動の推進について～八条地区福祉 連絡会を通じて～」 八条コミュニティ:佐野守男氏 八条地区民生委員児童委員:深 町千里氏
6月2日	9人	市谷区 コミュニティなかすじ まごころ部日常生活助け合いマップ づくり
6月7日	9人	土湊区 コミュニティなかすじ まごころ部日常生活助け合いマップ づくり
6月13日	10人	沖加陽区 コミュニティなかすじ まごころ部日常生活助け合いマッ プづくり
6月14日	35人	田鶴野地区福祉連絡会(コミュニティたづるの) 研修「田鶴野地区の福祉活動の推進に向けて」
6月17日	13人	清冷寺区 コミュニティなかすじ まごころ部日常生活助け合いマッ プづくり
6月19日	9人	本庄境区・中庄境区福祉委員会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
6月24日	50人	八条地区福祉連絡会(八条コミュニティ) 研修「八条地区の福祉活動の推進に向けて」
6月26日	17人	瀬戸区福祉委員会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
6月27日	14人	気比区福祉委員会 見守り活動等の状況把握・協議
6月27日	15人	高屋区福祉部会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
7月5日	12人	大開西区福祉委員会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
7月6日	30人	奈佐地区福祉連絡会(奈佐地区コミュニティ) 研修「奈佐地区の福祉課題について」

7月8日	13人	妙楽寺区福祉委員会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
7月10日	9人	本庄境区・中庄境区福祉委員会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
7月12日	9人	旭区福祉委員会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
7月14日	40人	港地区福祉研修会 認知症についての研修
7月15日	70人	豊岡地区福祉座談会(とよおかカタツムリの会)(とおよかコミュニティ31) 研修「豊岡地区の現状について」
7月19日	30人	新田地区福祉部研修会 研修「各委員の役割について」
7月23日	6人	九日市上町区福祉委員会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
8月22日	10人	気比区福祉委員会 マップを用いた災害時の情報共有・協議
8月28日	30人	中筋地区福祉会議 研修「中筋地区の福祉活動の推進に向けて」
8月30日	85人	五荘地区福祉研修会(コミュニティ五荘) 研修「五荘地区の福祉活動の推進に向けて」 「認知症世界の歩き方」
9月15日	10人	梶原区福祉委員会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
9月24日	5人	九日市上町区福祉連絡会 見守り活動の状況について確認・協議
10月24日	5人	気比区福祉協議会 支え合いマップを用いた災害時の情報共有・協議
10月24日	10人	木内区福祉委員会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
11月9日	15人	駅前区福祉委員会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
11月12日	7人	香住区福祉会議 見守り活動の状況について確認・協議
11月12日	10人	九日市上町区福祉連絡会 見守り活動の状況について確認・協議
11月13日	20人	瀬戸区福祉委員会 支え合いマップを用いて情報共有・協議
12月15日	70人	五荘地区福祉研修会 研修「認知症世界の歩き方」
1月28日	10人	九日市上町区福祉連絡会 担当ごとに報告と課題になっていることの確認・協議
2月18日	6人	香住区福祉委員会 気になる方の情報共有・協議

	2月24日	70人	八条地区福祉連絡会(八条コミュニティ) 研修「八条地区の福祉活動の推進に向けて」
	2月27日	10人	気比区福祉委員会 見守り活動等の状況把握・協議
	3月13日	50人	三江コミュニティ福祉部会 研修「三江地区の福祉活動の推進について」
	3月26日	12人	上庄境区見守り会議 一人暮らし高齢者、気になる方の情報共有・協議
	3月29日	6人	梶原区福祉委員会 支え合いマップを用いた情報共有・協議
城崎	5月15日	9人	元薬師区福祉委員会 支え合いマップを用いた地域の見守状況の確認と情報共有
	5月30日	62人	民生委員児童委員・民生児童協力委員・福祉委員合同研修会 「福祉の現状と連携した見守り活動について」
	6月22日	8人	来日区福祉委員会 支え合いマップ等を用いた要支援者対象者の状況確認
	7月5日	9人	北松ヶ崎区福祉委員会 支え合いマップを用いた地域の見守状況の確認と情報共有
	9月20日	9人	来日区福祉委員会 支え合いマップ等を用いた要支援者対象者の状況確認と情報の更新
	10月20日	7人	上山区福祉委員会 支え合いマップを用いた地域の見守状況の確認と情報共有
	10月27日	6人	上山住宅区福祉委員会 支え合いマップを用いた地域の見守状況の確認と情報共有
	10月27日	7人	ひのそ区福祉委員会 支え合いマップを用いた地域の見守状況の確認と情報共有
	11月17日	5人	二見区福祉委員会 支え合いマップを用いた地域の見守状況の確認と情報共有
	12月7日	12人	桃島区福祉委員会 支え合いマップを用いた地域の見守状況の確認と情報共有
	12月7日	9人	来日区福祉委員会 支え合いマップ等を用いた要支援者対象者の状況確認と情報の更新
	12月21日	9人	宮本区福祉委員会 支え合いマップを用いた地域の見守状況の確認と情報共有
	3月15日	9人	来日区福祉委員会 支え合いマップ等を用いた要支援者対象者の状況確認と情報の更新
竹野	4月10日	6人	奥須井地区福祉委員会(福祉委員、区長、民生委員、地域活動者等) 支え合いマップを用いた地域の見守状況の確認と情報共有
	4月23日	9人	和田地区福祉委員会(福祉委員、区長、民生委員、民生協力委員、地域活動者等)

			支え合いマップを用いた地域の見守状況の確認と情報共有
	4月27日	8人	下町地区福祉委員会（福祉委員、区長、民生委員、民生協力委員等） 支え合いマップを用いた地域の見守状況の確認と情報共有
	5月27日	9人	椒地区福祉委員会 福祉委員、民生委員、民生協力委員、コミュニティナースによる情報提供、情報共有、地域のつながりについて
	6月29日	81人	民生委員児童委員・民生児童協力委員・福祉委員合同研修会 研修テーマ「緩やかな見守り」～民生委員児童委員・民生児童協力委員・福祉委員の役割について
	7月10日	8人	田久日地区福祉委員会（福祉委員、区長、民生委員、コミュニティナース等） 支え合いマップを用いた地域の見守状況の確認と情報共有
	9月24日	12人	切浜福祉委員会（区長、民生委員、民生協力委員、老人会、地域活動者、消防団、副区长、区役員、福祉委員等） 支え合いマップを用いて地域の見守り体制、災害時の声掛けの確認、災害時の区内啓発の仕方や地域課題についての情報共有を行います
	11月11日	10人	椒地区福祉委員会 福祉委員、民生委員、民生協力委員、コミュニティナースによる情報提供、情報共有等
	12月11日	5人	駅前区福祉委員会（福祉委員、区長、民生委員、民生協力委員等） 支え合いマップを用いて地域の見守り体制、災害時の声掛けの確認等
	1月30日	7人	東町区福祉委員会（福祉委員、民生委員、区長、副区长） 支え合いマップを用いて地域の見守り体制、災害時の声掛けの確認等
日高	5月18日	23人	東構区福祉委員会 福祉委員会を立ち上げてから1回目の会議 今後の活動の方向性について協議・意見交換をサポート
	6月23日	47人	第1回日高地域福祉委員研修会（日高町全域対象） 福祉委員活動について ① 見守り・気づき ②知らせる・つなぐ グループワーク：共有・意見交換 日高地域包括支援センターから情報提供
	7月30日	9人	太田区支え合いマップ 地図を見ながら地域の状況について共有
	9月20日	40人	コミュニティこくふ合同研修会(福祉・防災) 災害時の対応、福祉的な視点での防災等の情報提供 行政区での福祉活動(地域の情報交換等)を進めていくためのきっかけづくり
	12月7日	50人	コミュニティこくふ地域福祉部研修会 ① 支え合いマップを通じた地域の情報共有

			各行政区での地域福祉活動のきっかけづくり
	1月26日	31人	福祉委員、民生委員、協力委員合同研修会 (国府・八代地区) 研修会(全体説明)災害時における福祉関係委員の役割 意見交換(民生委員エリアごと)
	2月1日	55人	福祉委員、民生委員、協力委員合同研修会 (日高地区) 研修会(全体説明)災害時における福祉関係委員の役割 ② 意見交換(民生委員エリアごと)
	3月2日	35人	コミュニティこくふ事業振り返り会 各部会に分かれて今年度の事業振り返り 地域福祉部参加
	3月21日	49人	福祉委員、民生委員、協力委員合同研修会 (三方・清滝・西気地区) 研修会(全体説明)災害時における福祉関係委員の役割 意見交換(民生委員エリアごと)
出石	6月15日	16人	寺町区福祉委員会 支え合いの地域づくりの現状について 出石・但東地域包括支援センターからのPR
	7月19日	42人	福祉委員研修会 福祉委員の活動と役割について 福祉委員活動の実践発表 出石・但東地域包括支援センターからのPR
	7月26日	25人	寺町区隣保長会議 出石・但東地域包括支援センターからのPR 見守り個配サービスについて紹介
	7月27日	12人	鍛冶屋区福祉委員会 支え合いマップで、現状確認と情報共有 出石・但東地域包括支援センターからのPR
	9月30日	11人	下谷区福祉委員会 支え合いマップで、現状確認と情報共有 出石・但東地域包括支援センターからのPR
	10月17日	5人	暮坂区福祉委員会 支え合いマップで、現状確認と情報共有 出石・但東地域包括支援センターからのPR
	10月18日	33人	区長、民生委員・児童委員、福祉委員合同研修会(弘道地区) 支えあいの地域づくり活動の提案 連携について情報交換 ささえ愛通所事業(咲楽屋)のPR 質疑応答
	10月25日	43人	区長、民生委員・児童委員、福祉委員合同研修会(小坂・小野地区) 支えあいの地域づくり活動の提案 連携について情報交換 ささえ愛通所事業(咲楽屋)のPR 質疑応答

	11月1日	47人	<p>区長、民生委員・児童委員、福祉委員合同研修会(菅谷・福住・寺坂地区)</p> <p>支えあいの地域づくり活動の提案 連携について情報交換 ささえ愛通所事業(咲楽屋)のPR 質疑応答</p>
	11月14日	3人	<p>中野区福祉委員会</p> <p>支え合いマップで、現状確認と情報共有 出石・但東地域包括支援センターからのPR</p>
	11月29日	7人	<p>川原区福祉委員会</p> <p>民生委員・児童委員、福祉委員、川原区見守り隊による情報交換</p>
	2月8日	10人	<p>日野辺区福祉委員会</p> <p>支え合いマップで、現状確認と情報共有 出石・但東地域包括支援センターからのPR</p>
但東	4月18日	11人	<p>畑山区福祉委員会</p> <p>見守り活動の役割分担と近況の情報共有 サロン活動の状況について情報共有 今年度の活動について(研修、世代間交流) など</p>
	5月9日	10人	<p>畑山区福祉委員会</p> <p>今年度の活動について確認 マップによる災害時危険個所の確認 見守りの情報共有 など</p>
	5月13日	13人	<p>唐川区福祉委員会(唐川地域づくりの会)</p> <p>緊急時連絡カードの更新について 唐川区アンケート結果と今後の取り組みについて 見守り対象者の状況と但東について など</p>
	5月24日	33人	<p>福祉委員研修会</p> <p>参加者:福祉委員 内容:R4年度の活動実績、R5年度の活動予定 福祉委員の役割の確認・整理 地区別意見交換(見守り活動について等)</p>
	5月24日	5人	<p>福祉委員代表者会議</p> <p>参加者:福祉委員正副代表者 内容:R5年度の活動について 福祉連絡会の実施と内容について</p>
	6月4日	9人	<p>赤花区福祉委員会</p> <p>合同交流イベントについて サロン、見守り、買物支援について情報共有 など</p>
	6月12日	5人	<p>赤野区福祉委員会</p> <p>支え合いマップによる情報共有 買い物ツアー、コープ共同購入の状況について情報共有 など</p>
	6月13日	6人	<p>如布区福祉委員会</p> <p>見守り、サロン、連絡カードについて情報共有 支え合いマップによる情報共有</p>

		買い物ツアーについて など
6月21日	3人	出合区福祉委員会(出合区地域づくり会議) 支え合いの地域づくり活動について 区内の気になる方について情報共有 など
7月1日	14人	唐川区福祉委員会(唐川地域づくりの会) 唐川区防災勉強会について 年間スケジュールについて など
7月11日	9人	畑山区福祉委員会 福祉講座の振り返り 世代交流イベントについて 見守りの状況について情報共有 など
7月20日	31人	資母地区福祉連絡会 参加者:福祉委員、民生委員、区長、資母まちづくり協議会暮らしづくり部長、地域マネージャー、支援員 内容:報告…高齢者学級座談会で聞かれた声 活動紹介・意見交換…各福祉委員会・連絡会について 説明・意見交換…「買い物ツアー」「まごのて」について
8月3日	33人	合橋地区福祉連絡会 参加者:福祉委員、民生委員、主任児童委員、民生協力委員、区長、コミュニティあいはし地域マネージャー 内容:情報共有・意見交換…ささえあいマップ作成
8月26日	19人	高橋地区福祉連絡会 参加者:福祉委員、民生委員、区長、たかねっとささえあい部員 内容:「防災勉強会」を兼ねて実施 ミニ講義…「自分たちの命は自分たちで守る」 意見交換・図上演習…区で気になる方の避難経路等 体験・訓練…避難誘導の方法・介助(歩行・車いす介助)等
9月2日	14人	唐川区福祉委員会(唐川地域づくりの会) 防災勉強会について 台風7号接近時の区内の状況について情報共有 など
9月17日	10人	赤花校区福祉委員会 各区での見守り、事業等の情報共有 コミュニティ、社協の動きについて情報共有 交流事業の開催頻度について など
9月24日	5人	佐々木区福祉委員会(佐々木区支え合いの地域づくり会議) 支え合いの地域づくり活動について 区内の気になる方、集まる場等について情報共有 など
10月12日	9人	畑山区福祉委員会 区・コミュニティの活動についての情報共有 見守り情報の共有 など
11月1日	7人	赤野区福祉委員会 支えあいマップの確認、見守り状況の確認 災害時要援護者台帳の確認 コープの共同購入の状況について など

	11月4日	10人	唐川地域づくりの会 唐川区防災勉強会について 交流事業について 見守りの状況について など
	1月29日	8人	坂野区支え合い会 会の目的について 区の人口、年齢構成について 支え合いマップの作成 など
	2月17日	10人	唐川地域づくりの会 コミュニティの取り組みについて 敬老事業(訪問活動)について など
	3月2日	9人	赤花校区福祉委員会 次年度の各イベントの開催について 見守り状況等について共有 など
	3月31日	5人	佐々木区支え合いの地域づくり会議(終了後訪問活動) 見守りの状況について コミュニティの活動について 次年度活動について、サロン活動実施に向けて など

(3) 豊岡市地域福祉計画の推進

豊岡市地域福祉計画推進委員会を設置し、計画の実現に向けた取り組みの検討、計画の推進状況の評価について協議を行いました。

【推進委員会の開催状況】

会議名	開催日	内容
地域福祉計画前期推進委員会	3月25日	豊岡市地域福祉計画の取組状況について

(4) 総合的な相談支援事業の推進

総合相談センター（総合相談・生活支援センター、障害者相談支援事業所、各地域包括支援センター）を中心に、高齢者、障がい者、生活困窮、制度の狭間にある住民や複合的な課題のある世帯等への支援に向けて、地域住民、関係機関・団体等と連携・協働し取り組みました。

① 総合相談・生活支援センター業務（市委託事業）

生活に困窮し、生きづらさを抱えた相談者の話を丁寧に聴き、気持ちに寄り添い、意欲の向上や自信を取り戻す支援を市・関係機関・地域住民・企業等と連携しながら、「経済的自立」「日常生活自立」「社会生活自立」に向けて取り組みました。また、制度の狭間や社会的孤立、複合的な課題を抱える世帯に対し、社協・市の庁内連携体制による横断的な支援体制づくりに取り組みました。

今年度は、社協・市の相談業務等に携わっている関係各課が集まった総合相談支援チー

ム会議にて、4つのテーマ『住まい』『居場所』『仕事』『病気』に分かれ、分科会方式で検討を行いました。各テーマに沿い日頃の業務で感じている課題を出し合い、その課題を解決していくための手立てや仕組みについて意見交換し、その実現に向け今後必要な取り組みをまとめ、総合相談運営会議に提案しました。

【新規相談受付件数】 (単位:件)

令和4年度	令和5年度
116	121

【自立支援プラン作成件数】 (単位:件)

令和4年度	令和5年度
24	34

【相談件数】 (重複あり)

(単位:

件)

	病気 障害	住まい	収入 生活費	家賃 ローン支払	税金 公共料金 支払	債務	仕事探し 就職	仕事上の 不安、 トラブル
R4	51	15	97	37	34	26	42	12
R5	54	25	96	39	38	25	37	9
	地域との 関係	家族関係 人間関係	子育て 介護	ひきこも り、不登校	DV 虐待	食べるもの が無い	その他	合計
R4	1	16	15	4	2	23	10	385
R5	4	19	17	7	2	15	12	399

② 地域包括支援センター業務 (市委託事業)

重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進する中核的機関として、高齢者の総合相談支援、権利擁護支援、ケアマネジャーへの支援、介護予防ケアマネジメント、地域ケア会議の推進、認知症予防・支援の推進、生活支援体制整備の推進に取り組みました。

今年度は、地域ケア会議等から抽出された地域課題を検討するため、豊岡市地域ケア推進会議に地域包括支援センター管理者も参加し、「身寄りなし検討部会」「移動販売への支援部会」に分かれて検討を進めました。

【相談件数】 (重複あり)

(単位:

件)

事業所	年度	介護 相談	総合 事業	介護 予防	介護 給付	入退 所・院	高齢者 福祉	障が い者 福祉	保健・ 医療	権利 擁護	認知症 に関する 事	経済	その他	合計
-----	----	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	----------------	-----------	----------	------------------	----	-----	----

豊岡	R4	3,775	3,154	4,259	668	384	7,748	137	1,270	812	432	188	339	23,166
	R5	3,110	1,841	2,895	269	468	6,768	157	2,197	1,006	579	346	495	20,131
城崎・竹野	R4	719	1,133	1,582	104	98	1,965	30	469	26	87	64	333	6,610
	R5	612	1,195	1,777	87	102	2,187	35	427	60	84	50	124	6,740
日高	R4	289	1,558	3,432	750	290	1,738	122	398	327	156	66	142	9,268
	R5	342	1,510	4,410	532	263	1,766	27	336	301	174	54	194	9,909
出石・但東	R4	228	1,336	2,665	252	322	2,166	49	97	121	93	44	47	7,420
	R5	198	1,526	2,333	146	260	2,145	29	131	142	76	32	35	7,053
合計	R4	5,011	7,181	11,938	1,774	1,094	13,617	338	2,234	1,286	768	362	861	46,464
	R5	4,262	6,072	11,415	1,034	1,093	12,866	248	3,091	1,509	913	482	848	43,833

【虐待対応件数】

	年度	前年度からの継続	通報 (内虐待認定)	虐待件数	終結	対応継続
豊岡	R4	7	17(2)	9	4	5
	R5	5	19(11)	16	9	7
城崎・竹野	R4	3	1(1)	4	2	2
	R5	1	5(1)	2	1	1
日高	R4	3	7(2)	5	4	1
	R5	1	13(4)	5	2	3
出石・但東	R4	2	5(1)	3	2	1
	R5	2	6(2)	4	2	2
合計	R4	15	30(6)	21	12	9
	R5	9	43(18)	27	14	13

(単位:件)

【ケアマネジャーへの支援回数】

(単位:回)

	年度	ケース 検討会議	同行訪問	個別相談 情報提供	サービス 担当者会議	合計
豊岡	R4	17	180	1,246	24	1,467
	R5	9	204	570	16	799
城崎・竹野	R4	5	88	350	17	460
	R5	4	72	275	19	370
日高	R4	9	69	472	17	567
	R5	12	62	277	18	369
出石・但東	R4	7	74	141	25	247
	R5	12	55	101	33	201
合計	R4	38	411	2,209	83	2,741

	R5	37	393	1,223	86	1,739
--	----	----	-----	-------	----	-------

【ケアプラン作成件数】

(単位 :

件)

	豊岡	城崎・竹野	日高	出石・但東	合計
令和4年度	7,545	2,777	3,460	3,206	16,988
令和5年度	7,503	2,737	3,432	3,166	16,838

※予防給付・総合事業・支え合い・からだ元気塾・委託件数含む

【認知症初期集中支援対応件数】

(単位 : 件)

	前年度からの継続	新規	終了
令和4年度	9	5	10
令和5年度	4	2	2

③ 障害者相談支援事業所業務

ア. 一般的な相談(市委託事業)

相談支援事業を効果的に実施するために、豊岡市障害者自立支援協議会へ参加し、中立・公平な相談支援事業の実施や地域の関係機関との連携強化、社会資源の開発・改善に向けて関係各機関との協議を重ねてきました。令和5年度は、障害者の地域生活における地域課題として福祉職の人材不足解消に向けて、豊岡市障害者自立支援協議会で専門部会を立ち上げ、ピアサポーター向けの「ガイドヘルパー養成研修」を開催し、障がい当事者が地域で活躍できる取り組みを行いました。

※ピアサポーター…同じ課題や環境を体験する人がその体験から来る感情を共有し、専門職による支援では得がたい安心感や自己肯定感を得られる存在。

イ. 障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援・障害児相談支援)

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援してきました。

課題が複雑・多様化し、福祉サービスの利用調整だけでは対応が困難になっているケースが増加。効果的な解決策が見出しにくく、警察や医療機関等と協働し検討を行うなど、中長期的な継続的な支援を行ってきました。

ウ. 地域生活への移行に向けた支援(地域移行支援・地域定着支援)

入所施設や精神科病院等からの退所・退院にあたって支援を要する者に対し、入所施設や精神科病院等における地域移行の取り組みと連携しつつ、地域移行のための支援を行ったり、家族との同居から一人暮らしへ移行した者、地域生活が不安定な者等に対し、地域生活を継続・定着していくための支援を行ってきました。

【一般相談支援実人数】（単位:人）

令和4年度	令和5年度
108	73

【一般相談件数】（重複あり）

（単位:件）

	制度利用	障害・病状の理解	健康医療	不安解消	保育教育	家族・人間関係	家計経済	生活技術	就労	社会参加	権利擁護	その他	合計
R4	586	152	121	267	7	36	59	15	57	14	32	199	1,545
R5	457	120	145	230	13	37	64	81	77	17	23	259	1,523

【計画相談支援実人数】

（単位:人）

	令和4年度	令和5年度
障がい者	207	207
障がい児	34	35
合計	241	242

【計画相談件数】（重複あり）

（単位:件）

	制度利用	障害・病状の理解	健康医療	不安解消	保育教育	家族・人間関係	家計経済	生活技術	就労	社会参加	権利擁護	その他	合計
R4	4,327	235	155	229	30	31	75	54	100	21	48	189	5,494
R5	4,554	133	364	274	23	53	142	167	30	18	49	213	6,020

（5）社協セーフティネット機能の充実・強化

社協としての生活困窮世帯へのセーフティネット機能を果たせるよう、生活福祉資金及び法外援護資金の貸付相談事業を通じて困窮世帯の困りごとを受け止め、課題解決に向けて、総合相談センター各部署（総合相談・生活支援センター、障害者相談支援事業所、地域包括支援センター）や市関係課等へつなぎ、連携して解決に取り組みました。

① 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

低所得世帯や高齢者世帯、障がい者世帯などで生活に一時的に困窮している世帯に対し、必要な費用の一部を貸し付けるとともに、民生委員や社会福祉協議会による相談支援を行うことによって、課題の解決や世帯の自立、社会参加の促進を図ることを目的に実施しました。

【貸付状況】

資金種類	令和4年度		令和5年度	
	件数	貸付金額	件数	貸付金額
福祉資金	2件	1,156,000円	1件	290,400円
教育支援資金	2件	2,650,000円	2件	4,480,000円

総合支援資金	0 件	0 円	0 件	0 円
緊急小口資金	3 件	300,000 円	1 件	68,000 円
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 円	0 件	0 円
緊急小口資金 (新型コロナウイルス特例貸付)	16 件	3,050,000 円	—	—
総合支援資金 (新型コロナウイルス特例貸付)	12 件	6,000,000 円	—	—

※新型コロナウイルス特例貸付は令和4年9月末で受付終了

【相談件数】

(単位:件)

資金種類	令和4年度	令和5年度
従来の生活福祉資金貸付(延件数)	191	563
新型コロナウイルス特例貸付(実件数)	46	—

※令和5年度より従来の生活福祉資金貸付(延件数)に統合

② 社協における生活困窮者支援体制強化事業(ほっとかへんネットワークカー配置事業)

(県社協委託事業：令和5年度新規事業)

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金特例貸付の償還期間内において、生活困窮状態が続く借受世帯等への相談対応、および、借受世帯等が安心して暮らすことができるために必要な支援と、地域内のセーフティネットの充実を通じた社会的孤立・排除の解消及び予防を図ることを目的とし支援活動を行いました。

【実態調査】

特例貸付を利用されたすべての借受人に対して実態調査を行い、借受世帯の現在の生活実態を把握するとともに、相談を希望する借受世帯等への相談支援を行いました。

項目	件数	備考
対象数	462 件	特例貸付借受人 全員
回答数	191 件	全体の 41%が回答
相談希望	92 件	相談希望の回答ではないが、自由記述の回答から支援の必要性がうかがえるケースも含む(全体の 20%)

【専用ダイヤルによる相談窓口のお知らせチラシの送付】

実態調査の結果からアウトリーチの必要性を認識し、償還が滞納している方、及び住所変更の確認ができた方 105 名に「専用ダイヤルによる相談窓口のお知らせチラシ」を送付しました。対象者からの反応はないが、SMS(ショートメッセージ)で声かけし 15 名とつながり生活状況を聞くことができました。

【コウノリつながる便の実施】

企業・団体の4ヶ所よりフードドライブの取り組みで寄せられた多くの食料品の寄贈を受けました。それら食料品を活用し、特例借受者で実態把握が出来ていない方(実態調査で収入は減少しているが相談を希望されなかった方)とつながることを目的に「コウノリつながる便」として食料品を提供し実態を把握しました。

食品 15 品入り 20 セットを配布

【相談支援件数】

対応件数(延べ)	318件 (実人員 122名)
----------	-----------------

具体的な支援として、免除・猶予の手続き、食料支援、専門機関(自立相談支援事業所、子ども支援センター、国際交流協会等)との連携した、情報提供、生活相談を行いました。

② 法外援護資金貸付事業

失業や病気等様々な理由で困窮し、緊急的に資金が必要な者に対し、法外援護資金の貸付により、生活をつなぎ自立に向けた支援を行うことを目的に実施しました。

電気等のライフライン停止や受診代等の緊急的な資金が必要な世帯に対しては、緊急少額資金により迅速な貸付対応を行いました。

【貸付状況】

資金種類	令和4年度		令和5年度	
	件数	貸付金額	件数	貸付金額
法外援護資金	1件	50,000円	5件	280,000
緊急少額資金	10件	101,542円	12件	92,566

③ 日常生活自立支援事業(県社協委託事業)

高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの判断能力に不安のある方に対して、福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理を通じて、地域において自立した生活が送れるよう支援を行いました。

【契約件数】 (単位:件)

令和4年度末	令和5年度末
76	75

【問い合わせ・相談件数】

(単位:件)

	令和4年度	令和5年度
福祉サービス利用援助事業に関して	3,867	3,716
成年後見制度に関して	8	10
その他	1,111	653
合計	4,986	4,379

⑤ 緊急食料支援事業

生活に困窮し食料の確保が難しい世帯へ食料を提供し、生活困窮者自立相談支援(総合相談・生活支援センター)による相談支援を行い世帯の自立に向けて取り組みました。

【寄付・支援受付状況】 (単位:件)

	令和4年度	令和5年度
食料寄付	116	108
食料支援	58	51

【ニーズキャッチ機関】

(単位：件)

機 関・部 署	令和4年度	令和5年度
市社会福祉課	24	8
市健康増進課	1	0
市振興局	3	0
こども支援センター	2	2
社協本所	1	5
社協支所	3	9
障害者基幹相談支援センター	0	0
民生委員	0	0
ハローワーク	0	0
地域住民	1	0
地域包括支援センター	1	4
障害者相談支援事業所	3	0
市税務課	0	1
総合相談・生活支援センター	19	22
合 計	58	51

(6) 各種相談活動の推進

市民の生活・福祉課題を発見し、様々な生活援助や地域福祉活動につなげるため、小地域福祉活動と連携した身近な相談窓口と専門職との連携を図りました。

① 法律相談

弁護士が市民の財産・家族間等の問題について法的な手続きを含めた確かな助言を行い、市民の財産・権利の維持・継続を支援することを目的として実施しました。

開設日…毎月第1火曜日

【相談件数】 (単位:件)

令和4年度	令和5年度
91	89

② 心配ごと相談

市民が抱える家族・介護・生計など生活上の様々な心配ごとについて職員が相談に応じ、解決のための助言を行い、誰もが安心して自分らしい生活が送れるようにすることを目的に実施しました。

【相談件数】 (単位:件)

	豊 岡	城 崎	竹 野	日 高	出 石	但 東	合 計
令和4年度	21	5	4	11	6	7	54
令和5年度	33	4	10	11	2	9	69

③ 結婚相談

結婚を望んでいるが、出会いの機会が少ない等の理由により結婚に至らない方へ、結婚相談員が相談・助言や紹介を行いました。また、豊岡市内だけにこだわらず但馬全域の登録者の中で相談員による情報交換を行い、よい出会いの提供に取り組みました。

令和4年度から2ヵ所の相談所を豊岡1カ所に統合し、相談員同士の情報交換の活発化を図り、成婚増加に向けた体制を整えました。

また、新たに土曜日の相談日を開設し、登録者及び新規相談者が相談しやすい環境を整えました。

【実施状況】

(単位:件)

	相談件数	紹介	見合い	成婚	成婚の内、相談員が関わった件数(再掲)
令和4年度	68	537	199	3	2
令和5年度	46	408	116	1	1

※結婚相談所開設日…第1・3土曜日、第2・4水曜日

【結婚相談所登録者数】

(単位:人)

	全但登録者数			未登録者 (相談員が釣書を預かっている方)		
	男	女	計	男	女	計
令和4年度	49	38	87	21	17	38
令和5年度	67	34	101	13	8	21

4. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現

地域において、利用者がその人らしく豊かに生活が送れるように、単に決められた介護サービスの供給だけでなく、既存のサービスの枠を超えて、個々のニーズを拾い上げ、的確かつ柔軟に対応し、例え終末期ケアが必要な状態になっても「在宅生活を守りきる」体制づくりを進めました。

(1) 在宅生活を守りきる介護サービスの実施

① 居宅介護支援事業

在宅の要介護・要支援者が介護サービス等を適切に利用できるよう、利用者の依頼を受けて、心身の状況、生活環境、利用者及びその家族の希望を勘案し、居宅サービス事業所や関係機関と連携・調整を図りました。

【延利用者数】 (単位:人)

	令和4年度	令和5年度	比較
豊岡	1,554		△1,554
豊岡北	1,507	1,997	490
日高	1,648	1,939	291
出石・但東	2,384	2,272	△112
合計	7,093	6,208	△885

② 訪問介護事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの生活援助、また通院介助を行いました。

【延利用者数】 (単位:人)

	令和4年度	令和5年度	比較
豊岡	8,864	7,633	△1,231
竹野	9,536	8,705	△831
日高	16,110	15,601	△509
出石	17,337	13,751	△3,586
合計	51,847	45,690	△6,157

④ 訪問入浴介護事業

看護職員1名と介護職員2名が利用者宅を訪問し、組み立て式浴槽にて入浴、洗髪などのサービスを提供しました。入浴前後には、看護職員が健康チェックを行いました。

【延利用者数】 (単位:人)

令和4年度			令和5年度			比較		
介護	障がい	合計	介護	障がい	合計	介護	障がい	合計
1,569	325	1,894	1,293	288	1,581	△276	△37	△313

⑤ 通所介護事業

要介護・要支援状態にある利用者へ健康チェック、入浴、レクリエーションなどを通じて心身の機能の維持や交流の場を提供しました。また、家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

【延利用者数】

(単位:人)

	令和4年度			令和5年度			比較		
	介護	障害	合計	介護	障害	合計	介護	障害	合計
豊岡港	3,942	0	3,942	3,776	0	3,776	△166	0	△166
豊岡西	3,903	167	4,070				△3,903	△167	△4,070
竹野	5,605	61	5,666	5,954	56	6,010	349	△5	344
竹野南	2,162	0	2,162	2,677	0	2,677	515	0	515
日高西	6,694	15	6,709	6,055	18	6,073	△639	3	△636
日高東	6,333	51	6,384	6,526	49	6,575	193	△2	191
但東	6,214	0	6,214	6,026	0	6,026	△188	0	△188
合計	34,853	294	35,147	31,014	123	31,137	△3,839	△171	△4,010

⑥ 地域福祉生活支援拠点ぐるらん（小規模多機能型居宅介護事業）

日中の通い、夜間の泊り、24時間対応の訪問を組み合わせ、一人ひとりのニーズ・生活に合わせたオーダーメイドの支援に取り組みました。

【利用状況】

	令和4年度	令和5年度	比較
実登録者数	30人	29人	△1人
月平均	20人	17.6人	△2.4人
訪問	3,475回	3,504回	29回
通所	2,602回	1,907回	△695回
宿泊	337回	127回	△210回

(2) 障害福祉サービス事業の推進

① 障害者サービス事業

訪問介護員が身体に障がい、知的障がい、精神障がいがある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事介助などの身体介護や、掃除、洗濯、調理などの家事援助や外出の支援、移動介助を提供しました。

【居宅介護 延利用者数】

(単位:人)

	令和4年度	令和5年度	比較
豊岡	2,807	2,691	△116
竹野	1,279	974	△305
日高	1,090	1,147	57
出石	2,046	1,853	△193
合計	7,222	6,665	△557

【同行援護 延利用者数】

(単位:人)

	令和4年度	令和5年度	比較
豊岡	49	46	△3
竹野	201	182	△19
日高	84	81	△3
出石	228	257	29
合計	562	566	4

【移動支援 延利用者数】

(単位:人)

	令和4年度	令和5年度	比較
豊岡	59	75	16
竹野	49	46	△3
日高	14	33	19
出石	14	34	20
合計	136	188	52

(3) 在宅福祉サービスの充実**① 産前・産後サポーター派遣事業 (市委託事業)**

妊娠、出産及び子育てに関する悩みや不安を抱える方や、家族等から産後の支援を受けられない方に、家事援助及び相談を行い、身体の負担の軽減と心身の安定を図り、安心して子育てができるように援助を行いました。

【延利用者数】

(単位:人)

	令和4年度	令和5年度	比較
豊岡	231	244	13
竹野	49	0	△49
日高	31	82	51
出石	35	34	△1
合計	346	360	14

③ 福祉用具貸与事業

高齢や障がいなどにより日常生活に支障を伴う方に福祉用具を一時的に貸し出すことにより、自立した在宅生活が継続できることを目的に実施しました。

【貸出件数】 ※品目…車いす、電動ベッド、松葉杖、歩行補助杖、歩行器等 (単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
令和4年度	178	12	23	73	63	30	379
令和5年度	86	21	28	55	57	32	279

④ 生きがい活動支援通所事業 (市委託事業)

要介護認定を受けていない高齢者で家に閉じこもりがちな方に対し、体操やレクリエー

ション等を行うことで社会的孤立の解消や介護予防を図ることを目的に実施しました。

【実施状況】

	年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	合計
開催回数	R4	0回	11回	23回	7回	108回	149回
	R5	0回	11回	23回	0回	108回	142回
延利用者数	R4	0人	112人	224人	7人	805人	1,148人
	R5	0人	109人	224人	0人	731人	1,064人

⑤ 給食サービス事業（食の自立支援事業）（市委託事業）

ひとり暮らしや高齢者世帯で心身に支障があり調理が困難な方に、ボランティアの協力を得ながら栄養バランスの取れた食事を届けることにより、栄養改善を図るとともに配食を通じた見守りを行い、健康で自立した生活が維持できることを目的に実施しました。

【実施状況】

	年度	竹野	但東	合計
実施日数	R4	147日	147日	294日
	R5	142日	149日	291日
延利用者数	R4	2,799人	4,150人	6,949人
	R5	2,760人	3,782人	6,542人

⑥ 家族介護支援事業（市委託事業）

高齢者を在宅で介護している家族等に、介護方法や介護予防、介護者の健康づくりなどについての知識・技術を習得する機会の提供や、介護者相互の交流を通じて介護者のリフレッシュを図ることを目的に実施しました。

【実施状況】

	年度	城崎	竹野	出石	但東	合計
開催回数	R4	5回	11回	6回	6回	28回
	R5	6回	10回	6回	6回	28回
延参加者数	R4	51人	48人	11人	15人	125人
	R5	89人	70人	8人	9人	176人

5. 様々な地域課題に対応する人材育成と確保

豊岡市社協が地域福祉活動を推進する組織として、職員の資質・スキルアップ向上を図るために、役職・等級等に応じた内部・外部研修により職員の資質向上を図りました。

(1) 計画的な研修体系の構築・実践、業務内容への反映

職員の資質や能力の向上を目的に、職種・役職に基づいた組織内部・外部研修を体系的に実施しており、研修内容が各職員の所属部署・事業所内で共有され、業務内容に反映されるよう研修内容の報告の徹底を図りました。

【職員内部研修実施状況】

研修名	講師	対象者	参加者数
新任職員研修	事務局長 企画総務課長	新任の正規職員、 嘱託職員	13名
VR認知症体験研修	株式会社シルバーウッド	介護職員及び相談 業務に従事してい る者	35名
会計実務担当者研修	企画総務課企画経営係主任	会計業務担当者、 希望者	6名
役割認識研修	各職場の担当者	入職2年目の職員	7名
救急救命法研修	豊岡消防署 日高分署 救急救命士	0～1等級他、希 望者（正規、嘱 託、非常勤、非常 勤ヘルパー）	11名
労務管理実務担当者 研修	企画総務課企画経営係 企画総務課職員係	管理職、監督職、 主任、副主任	44名
チーム力アップ研修	ひょうご仕事と生活センター 外部相談員 小倉 譲 氏	主任、指導職、監 督職、管理職	24名
コミュニケーション スキル研修	ひょうご仕事と生活センター 外部専門家 山本 伸子 氏	全職員	17名
安全運転研修	東京海上日動火災保険（株） 豊岡支社長 直島 政枝 氏	受講を指示する職 員、希望者	28名
コンプライアンス研 修	介護労働安定センター兵庫支部 講師 岡本 圭左 氏	主任、副主任、係 長級以上、希望者	29名
アセスメント研修	大谷大学社会学部コミュニティデザイ ン学科 准教授 中野 加奈子氏	全職員	36名

(2) 働きやすい職場環境づくりの整備

職員の意見を積極的に取り入れ、職員が熱意と柔軟な発想を持って業務に取り組めるよう、また風通しが良く働きやすい職場環境の整備に取り組みました。

主な取り組み内容

- ▶ 外部カウンセリングの実施
- ▶ 聴く耳ダンボ（話聴きます）による相談対応

(3) 人材確保計画の推進

昨年度に引き続き日高高校にハローワークを通じて指定校求人を出すなど、若い世代の介護職員人材確保推進に繋がるよう働きかけました。また新たな人材を紹介し、入職後、職場定着することで報奨金を支払う職員紹介制度については、今年度職場定着者は7名となり、人材確保の推進に繋がりました。

また昨年度同様、正規職員採用試験の1次募集で計画した職員数を確保できなかったため2次募集を実施、1次・2次募集を合わせて職員6名の新規採用に至りました。

6. 社協活動の見える化・透明性の確保

(1) 広報活動の促進

広報紙、ホームページ、YouTube、SNS等の媒体を通じて社協活動や地域の見守り、支え合い活動等の情報を発信しました。

① 広報紙「NIKO」

毎月市内全世帯に発行する広報紙「NIKO」の紙面の充実を図り、地域の福祉活動、まちづくり、ボランティアに関する情報など、市民が必要とする情報を掲載しました。

主な発信内容

- ▶ 子どものつながりを考える座談会
- ▶ 企業・団体等による買い物支援活動
- ▶ 福祉作業所の商品販売活動「つながるマルシェ」
- ▶ ふれあいいきいきサロン等での日高高校の看護学生と地域住民との交流
- ▶ 福祉専門職の活動内容
- ▶ 善意銀行への寄付・活用状況、緊急食料支援事業への寄付状況
- ▶ 全国各地で発生した大雨・豪雨災害への義援金募集
- ▶ 事業計画、予算、事業報告、決算

② YouTube「とよおか社協ちゃんねる」

「とよおか社協ちゃんねる」を随時アップし、看護学生、地域住民、企業等の地域活動の様子、インタビュー等を発信しました。

主な発信内容

- ▶ 看護学生と地域住民との交流活動
- ▶ 企業・団体等による買い物支援

➤ とよおかつながるプロジェクト「とよがるの会」

(2) 市民参画による地域福祉財源の活用

豊岡市福祉情報サイト「とよニコ」では、主に介護する世代、子育て世代、若者等をターゲットに福祉へ関心をもつ人を広げ福祉課題の解決の糸口とすることを目的に、13人の市民ライターが地域の福祉活動・居場所、福祉活動者等を住民目線で取材した記事を発信しました。また、市民ライターと専門職が気軽に交流する場として「ゆるニコ」を開催し、お互いの理解を深めることにつながっています。

○記事発信件数…35件

【善意銀行寄付受付状況】

	令和4年度	令和5年度	比較
寄付件数	186件	150件	△36
金額	7,774,751円	8,790,616円	1,015,865円

【活用状況】

事業	内容	件数
子どもの事故防止事業 (新入学児童ランドセルカバー贈呈)	市内小学校の新入学児童全員へ交通事故防止の安全対策として、黄色のランドセルカバーを贈呈 コープ共済と共同実施	610
除雪お手伝い事業助成	自力で除雪が困難な独居高齢者等に対し、玄関等家の周りの除雪や屋根からおろした雪の除雪に係る費用の一部を助成	12
新入学児童・生徒制服 購入事業	新入学児童・生徒のいる要保護世帯に対して、制服やランドセル購入等、新入学準備お祝い金を民生委員・児童委員を通じてお届け 小学校入学 1名につき 15,000円 中学校入学 1名につき 20,000円	14
地域活動支援センター 運営助成	地域活動支援センターが事業に使用する備品購入費の一部を助成し、安定的な運営を支援	2
但馬地区里親会へ助成 (事務局 豊岡こども 家庭センター)	但馬地区里親会の活動支援として賛助金を助成	1
青少年非行防止事業 (事務局 豊岡保護区 保護司会)	コミュニティセンター、健康福祉センター等の公共施設へ掲示する啓発活動のための標語パネル費用の一部補助。	1

地域住民交流拠点 づくり活動助成	空き店舗、空き家などを活用し、多様な住民（子ども、子育て世代、働く世代、障がいを抱える方など）が集う毎日型の「住民交流拠点」の設置や運営に係る経費を助成	5
子どもの夢応援事業	経済的な理由で、文化およびスポーツに係る臨時的な支出が難しい豊岡市内の小・中学生の保護者を対象に、学校生活で必要になる物品の購入費用や、大会等の参加費を給付	4
飛び出し人形	児童・園児の飛び出しによる交通事故を防止するため、飛び出し人形を作成し、市を通じて都市公園に配置	5

（3）継続寄付者等への感謝状贈呈

善意銀行へ長年にわたり継続的に或いは多大な寄付をいただいた3名の個人へ感謝状を贈呈しました。

7. 法人運営

(1) 理事会

回数	開催日	出席 役員数	協議事項
1	4月26日	理事 11名 監事 1名	報告事項7件 第1号議案 豊岡市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 第2号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託職員給与規程の一部改正について 第3号議案 豊岡市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部
2	5月31日	理事 11名 監事 2名	報告事項6件 第4号議案 令和4年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第5号議案 令和4年度豊岡市社会福祉協議会決算について 監査報告 第6号議案 評議員の退任について 第7号議案 評議員の推薦について 第8号議案 豊岡市社会福祉協議会正規職員6月賞与について 第9号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託職員6月一時金について 第10号議案 功労者の表彰について 第11号議案 豊岡市障害者相談支援事業所(特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所)運営規程の一部改正について 第12号議案 豊岡市障害者相談支援事業所(一般相談支援事業所)運営規程の一部改正について
3	6月16日	理事 10名 監事 2名	第13号議案 理事長・副理事長の互選について 第14号議案 苦情解決の第三者委員の選任について
4	7月27日	理事 11名 監事 2名	報告事項5件 第15号議案 令和5年度共同募金(令和6年度事業費)「地域目標額」の設定に係る豊岡市社会福祉協議会事業充当計画について
5	8月17日	理事 10名 監事 2名	報告事項2件 第16号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託職員給与規程の一部改正について 第17号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について
6	11月24日	理事 9名 監事 2名	報告事項12件 第18号議案 福祉基金の取り崩しについて 第19号議案 正規職員の12月賞与について 第20号議案 嘱託職員の12月一時金について 第21号議案 令和5年度歳末たすけあい運動配分について 第22号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について
7	12月13日	理事 9名 監事 2名	報告事項6件 第23号議案 評議員の退任について 第24号議案 令和5年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算案について 第25号議案 令和5年度第2回豊岡市社会福祉協議会評議員会の開催について

8	1月25日		【書面決議(大雪により開催が困難となったため)】 報告事項4件 第26号議案 評議員の退任について 第27号議案 評議員の選任について
9	3月6日	理事 11名 監事 1名	報告事項 10件 第28号議案 第3次豊岡市社会福祉協議会基盤強化計画案について 第29号議案 令和5年度豊岡市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算案について 第30号議案 令和6年度豊岡市社会福祉協議会事業計画案について 第31号議案 令和6年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算案について 第32号議案 役員等賠償責任保険契約について 第33号議案 令和5年度第3回豊岡市社会福祉協議会評議員会の開催について

(2) 評議員会

回数	開催日	出席 評議員数	協議事項
1	6月16日	16名	第1号議案 令和4年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第2号議案 令和4年度豊岡市社会福祉協議会決算について 監査報告 第3号議案 第10期理事の選任について 第4号議案 第10期監事の選任について
2	12月22日	15名	報告事項2件 第5号議案 令和5年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算案について
3	3月14日	14名	報告事項1件 第6号議案 第3次豊岡市社会福祉協議会基盤強化計画案について 第7号議案 令和5年度豊岡市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算案について 第8号議案 令和6年度豊岡市社会福祉協議会事業計画案について 第9号議案 令和6年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算案について

(3) 正副理事長会議

開催回数…11回

(4) 部会・委員会

地域福祉活動を推進する中核的な組織として、社会情勢の変化に迅速に対応できる組織づくりに向けて、マネジメント機能の強化、住民参画による組織運営に取り組みました。

部会・委員会	開催日	協議事項
経営戦略部会	5月30日	令和4年度事業報告について 令和4年度決算について
	9月6日	委員長・副委員長の互選について 令和5年度豊岡市との補助金増額の協議(中間報告)について

		歳末たすけあい配分事業の在り方について
	1月30日	歳末たすけあい運動・事業の方向性について 賛助会費の増加に向けて
	3月4日	令和5年度第2次補正予算案について 令和6年度事業計画案について 令和6年度当初予算案について 歳末たすけあい事業に関するアンケートの状況について
地域福祉部会	10月5日	委員長・副委員長の互選について 意見交換「福祉に関心をもってもらうためには」
	3月12日	令和6年度の方向性について
在宅福祉部会	11月13日	委員長・副委員長の互選について 介護サービス事業所今後の取組み計画について
	3月13日	介護・福祉人材の定着に向けての計画について
善意銀行運営委員会	10月16日	委員長・副委員長の互選について 寄付に対する感謝状の贈呈について 協働行こかの取組みについて
	2月29日	令和5年度善意銀行預託状況、活用内容について 令和6年度善意銀行運営事業計画（案）、予算（案）について

(5) 監査会

回数	開催日	内容
1	5月22日	令和4年度豊岡市社会福祉協議会事業報告・決算 令和4年度豊岡市共同募金委員会事業報告・決算
2	11月16日	令和5年度豊岡市社会福祉協議会上半期事業報告・経営状況報告

(6) 評議員選任・解任委員会

回数	開催日	協議事項
1	6月13日 (書面決議)	第8期豊岡市社会福祉協議会評議員の選任について
2	3月7日 (書面決議)	第8期豊岡市社会福祉協議会評議員の選任について

(7) 苦情受付

苦情受付件数 8件

【苦情申出人の属性区分】

(単位:件)

サービス利用者家族	3
一般住民	4
関係機関	1

【苦情の事業区分】

(単位:件)

法人運営	3
ケアプランセンター	1
ヘルパーステーション	1

デイサービスセンター	1
地域包括支援センター	1
障害者相談支援事業所	1

【苦情の内容区分】

(単位:件)

内容	受付	終結
社協会費に関すること	1	1
職員の態度・対応に関すること	4	4
運転・駐車方法に関すること	3	3

【第三者委員会】

令和6年3月27日開催

第三者委員 3名出席

(8) 社協会費

【一般会費】(一世帯あたり年額 1,200円)

	世帯数	会費納入額	納入世帯数	前年度対比
令和4年度	31,926世帯	28,465,740円	23,717世帯	△125,760円
令和5年度	32,156世帯	28,292,020円	23,462世帯	△173,720円

【賛助・施設会費】(年額 2,000円以上)

	賛助会費		施設会費		一般会費との 合計金額	前年度対比
	件数	金額	件数	金額		
令和4年度	362	1,610,000円	26	83,000円	30,158,740円	△185,760円
令和5年度	348	1,500,849円	25	82,000円	29,874,869円	△283,871円

(9) その他の事業

① 最高齢夫婦祝福事業

豊岡市内の最高齢者・最高齢夫婦に9月の高齢者保健福祉月間に祝金(各1万円)を贈呈。

③ 福祉団体活動費助成事業

豊岡市内の福祉団体を対象に社会参加と交流の場づくりや組織化の支援・促進を目的に共同募金配分金事業として助成を行いました。今年度は新たに2団体から助成申請があり交付しました。

助成先	金額
豊岡市民生委員児童委員連合会	500,000円
豊岡市老人クラブ連合会	150,000円
豊岡市身体障害者福祉協会	150,000円
豊岡市婦人共励会	100,000円
豊岡市遺族会	102,000円
豊岡市子ども会連絡協議会	92,000円

NPO 法人にほんご豊岡あいうえお	150,000 円
豊岡保護区保護司会	150,000 円
一般社団法人 INCREW	150,000 円
合 計	1,544,000 円

令和6年度組織体制図

令和6年4月1日付

				正 規	嘱 託	非 常 勤	非 ヘル パー		
事務局長	1								
企画総務課長	1	企画総務課 課長補佐	1	企画経営係	2	2			
				職員係	2	1			
地域福祉課長	1	地域福祉課 課長補佐	1	地域福祉係	2	2	5		
				生活支援係	5	1			
		課長補佐	1	城崎支所	1				
				竹野支所	1		3		
				日高支所	1	1	2		
		課長補佐	1	出石支所	2	1	3		
				但東支所	2		5		
						障害者相談支援事業所	4	1	1
						総合相談・生活支援センター	3		
						豊岡地域包括支援センター	7	1	3
						城崎・竹野地域包括支援センター	2	1	
						城崎・竹野地域包括支援センター竹野分室	2		
						日高地域包括支援センター	5	3	1
				出石・但東地域包括支援センター	3				
				出石・但東地域包括支援センター但東分室	2		1		
在宅福祉課長	1	課長補佐 (ケアマネ及びヘルパー—統括マネージャー)	1	在宅福祉係	1				
				豊岡北ケアプランセンター	4		1		
				日高ケアプランセンター	3	2			
				出石・但東ケアプランセンター	3	2			
				専門官(出石・但東)	1				
				豊岡ヘルパーステーション	2	1	12		
				竹野ヘルパーステーション	2	2	8		
				日高ヘルパーステーション	3	1	17		
				出石ヘルパーステーション	2	3	18		
				課長補佐 (デイ及び小規模多機能統括マネージャー)	課長兼務	豊岡港デイサービスセンター	3	3	7
						竹野デイサービスセンター	3	3	10
						竹野南デイサービスセンター	1	1	6
						日高西デイサービスセンター	3	4	10
日高東デイサービスセンター	3	4	7						
但東デイサービスセンター	2	2	8						
専門官(但東デイ)	1								
				地域福祉・生活支援拠点ぐるらん	3	2	7		
				訪問入浴事業所	1	1	7		
				小計	96	45	89	55	
				総計	285				